

## 2022年度 芸術奨学金（修士）募集要項

（音楽・造形芸術・デザイン・映像・舞台芸術・建築分野向け）

### 1. 概要：

この奨学金は、ドイツの国公立、あるいは国から認可された大学の大学院において、芸術分野（音楽、造形芸術、デザイン、ヴィジュアルコミュニケーション、映像、舞台芸術〈演劇・演出・ダンス・振付〉、建築〈室内装飾、文化財保存、都市計画、ランドスケープデザイン、景観計画〉etc.）で修士号を取得、またはさらなる上級課程で研鑽を重ねる（音楽専攻の場合、KonzertexamenやMeisterklasse）ことを目的としたものである。

### 2. 給付期間：

#### 1) ドイツでの修士号取得を目的とする場合：

- 10～24ヶ月
- 奨学金は原則的に留学先の通常修業年数の期間（最長24ヶ月）支給される。2年間の課程の場合、1年修了時に通常修業年数内で学位取得が可能であるか、それまでの学業成績に基づいて審査され、残りの給付期間の延長が決定する
- 応募の時点で既にドイツの大学で2年間の課程の1年目に属している者は、2学年目からの1年間のみの給付となる。この場合、奨学金給付の延長は認められない
- 音楽専攻者は、場合によって給付延長が可能（ただしKonzertexamenやMeisterklasseといった上級課程への進学の場合に限る。とりわけ優秀な候補者に対しては、さらに最大で2年間の延長が認められる）

#### 2) ドイツでの学位取得や課程修了を目的としない留学の場合：

- 原則として1年。音楽専攻者は、上級課程(Konzertexamen/Meisterklasse)への留学のみが該当し、個別の状況に応じて延長可能となることもある

※1)と2)いずれの場合も原則として支給開始は2022年10月1日から。ドイツにおける語学研修が付帯される場合、奨学金の支給開始時期が早まる可能性がある

### 3. 給付内容：

- 1) 月額861ユーロ
- 2) 健康・傷害・個人賠償責任保険料
- 3) 旅費補助（ただし他の機関から支払われない場合に限る）
- 4) 研究補助費（1回限り）、
- 5) 場合によっては家賃補助、家族手当、障害・疾患手当なども支給されることもある
- 6) ドイツ語語学研修（詳細は奨学金証書にて通知）
  - 奨学金の合格証を受領した段階から、オンラインドイツ語コースへ無料参加が可能
  - 奨学金開始前に、2、4、または6ヶ月間の現地での語学研修が付与されることがある。語学研修への参加と期間は奨学生のドイツ語能力と研究計画に応じて個別に決定される。留学先の課程での使用言語がドイツ語の場合、付与されたドイツ語研修への参加は義務となる（新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となる可能性もある）

- 留学期間中に奨学生が自ら進んでドイツ語コースに参加する場合、その費用を補助
- 奨学金合格から支給終了まで、日本またはドイツでの TestDaF または DSH の受験料を 1 回に限り DAAD が負担する

#### 4. 応募資格：

- 1) 応募の時点で最終の卒業、修了もしくは学位取得時より 6 年を超えていないこと
- 2) 応募の時点で 15 ヶ月以上ドイツに滞在している者は対象とならない
- 3) 留学先課程の中でドイツ以外の国へさらなる留学やインターンが組み込まれている場合、以下の条件を満たす必要がある
  - 留学目的の達成のため不可欠な滞在であること
  - 国外への滞在期間が奨学金支給期間の 4 分の 1 を超えないこと。これを超える滞在は奨学金支給の対象とならない
  - 滞在地が日本でないこと
- 4) 全日制の課程のみが助成の対象となる。通信制・定時制の課程、E-ラーニングが大部分の課程等は対象とならない
- 5) 言語能力は留学先の受け入れ条件による。演劇・演出分野応募者は非常に優れたドイツ語能力が求められる。ミュージカル、パフォーマンス・スタディーズ、ダンス、振付け分野応募者は、少なくとも基本的なドイツ語能力および十分な英語能力が求められる。奨学金応募時には明確な言語レベルの規定はない（建築分野の専攻を除く）が、留学先の希望大学が求めるレベルに達している、または入学時までには達することができる見込みがあることが望ましい
- 6) 奨学金授与がドイツの大学の入学許可を意味するわけではない。各大学が個別に奨学生の入学を決定する。芸術分野の専攻の場合、入学試験への合格が必要になることが多い。応募者は各自で希望大学の入学・応募条件、試験の日程を確認すること。これらは大学での授業開始より数か月前、または DAAD 奨学金審査の決定以前となる場合もあるので注意すること。DAAD は入学試験受験のための費用は負担しない。最終的に大学からの入学許可が出なかった場合、奨学金も支給されない
- 7) 大学によって年齢制限がある場合がある。奨学金応募の前に自身が大学への応募資格を満たしているか必ず確認をすること
- 8) 美術史・音楽史・建築史といった学術分野での留学の場合は本奨学金には応募できない
- 9) 建築専攻の場合、Design/Projects 分野のみが助成対象となる。学位課程へ留学を希望する際、その課程が Design/Projects の授業に対し、次の最低 CP (ECTS に基づくクレジットポイント) が割り当てられていることを確認すること (120CP の課程の場合は最低 45CP、90CP の課程の場合は最低 34CP、60CP の課程の場合は最低 23CP)

#### 5. 応募方法：

応募申請は DAAD ポータル (<https://www.mydaad.de/en/>) より行う。DAAD ポータルから申請書をダウンロードし、記入後にその他の書類と併せてアップロードをする。その後、応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) がポータル上に送られて来るので、これを和文申請書と一緒に DAAD 東京事務所へに郵送すること。作品の提出方法については、下記をそれぞれ参照すること。

#### DAAD ポータル上および Web 上での提出書類 (ドイツ語または英語)

- 1) 応募申請書：DAAD ポータルに登録し、ダウンロードして作成する
- 2) 履歴書：空白の時期がないよう詳しく記載する
- 3) 留学計画書・動機文 (書式自由、3 ページ以内)：留学の動機・計画を詳しく記載する

#### 4) 入学許可書、志望校についての証明書：

- **ドイツでの学位取得を目的とする場合：**
  - 志望校報告書（ドイツで修士号取得の場合のみ）：[所定用紙](#)は DAAD 東京事務所の HP よりダウンロード可（音楽専攻者の場合は提出の必要なし）
  - 入学許可書（既にある場合のみ）。入学許可がまだ出ていない場合は、奨学金支給開始までに提出すること
  - 可能であればドイツの大学教授からの受入承諾書（音楽専攻者のみ）
- **ドイツでの学位取得を目的としない留学の場合：**
  - ドイツの大学教授からの受入承諾書

#### 5) 大学の全課程（学部、修士など、在学中の課程も含む）の学業成績証明書

#### 6) 大学の全課程（学部、修士など）の在学、卒業、修了（見込み）証明書

#### 7) 語学能力証明書（留学先の課程での使用言語に応じて提出）：

- ・ドイツ語の場合：Goethe-Zertifikat、Test-DaF、DSH、または [DAAD 所定用紙](#) など。DAAD 所定用紙の場合、大学のドイツ語教師が認可された語学学校の教師に記入をしてもらうこと
- ・英語の場合：TOEFL、IELTS など
- ・原則として取得から 2 年以内であること。独語・英語両方提出も可。

※コロナウイルスの影響で必要な語学証明書の提出が難しい場合（例：試験の中止や延期、そしてオンラインでの受験も困難な場合）、その提出が難しい理由と併せて、留学に必要な言語能力の [欧州言語共通参照枠](#) に基づく自己評価を代わりに提出することも可能。但し、正式な語学証明書は入手出来次第追って提出すること。なお、言語能力の自己評価は、例えば次のようなオンラインテストで行うことができる。  
ドイツ語 ([Goethe-Institut](#)、[Deutsche Welle](#))、英語 ([British Council](#))

#### 8) その他の書類（ある場合のみ）：インターンシップや就労証明書など

#### 9) 提出作品に関するリスト

- **音楽分野**
  - 曲目リスト（所定用紙（[独](#)/[英](#)）あり）※作品提出時にも再提出の必要あり
- **造形芸術・デザイン・映像/ 建築分野**
  - 提出予定作品の詳細情報（大きさ、作成日、作成場所など）を明記したリスト（※詳細は各分野の注意書き参照）
  - 提出作品が応募者個人or共同制作によるものかの説明。共同研究作品、共同プロジェクトの場合は、応募者の担当部分ができるようにすること。またその記述内容が正しいことを説明する申請書（建築応募者は所定用紙（[独](#)/[英](#)）あり）

#### 10) 作品（※DAAD ポータルへはアップロードしないこと！）

##### ● 音楽分野

DAAD ポータルでの上記書類提出終了後、2 週間以内に作品提出用のリンクが送られる。リンクを受け取ってから 2 週間以内にリンク先へ作品と曲目リストをアップロードすること。アップロードする作品のフォーマットは、オーディオの場合は mp3 または wav、ビデオの場合は mp4 であること。提出作品についての詳細は注意書き（[独](#)/[英](#)）を参照すること。

##### ● その他の分野

上記書類提出終了後、応募条件を満たし、書類に不備がなかった応募者にのみ、提出作品アップロード用のリンクが送られる。各分野の注意書きにある指示に沿って、それぞれの締め切り日までに、リンク先に作品を提出すること。

**建築**：2021 年 10 月 29 日までにリンクが送られる。11 月 7 日までに作品をアップ

ロードすること。注意書き（[独/英](#)）

**舞台芸術**：2021年11月16日までにリンクが送られる。11月30日までに作品をアップロードすること。注意書き（[独/英](#)）

**造形芸術・デザイン・映像**：2021年12月5日までにリンクが送られる。2022年1月10日までに作品をアップロードすること。注意書き（[独/英](#)）

#### **郵送書類（DAAD 東京事務所宛）※全ての応募者**

- 1) 和文申請書 1通（[所定書式](#)、DAAD 東京事務所の HP からダウンロード可）
- 2) 応募書類一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary） 1部：  
DAAD のポータルで書類提出後、応募が受理されると、確認の通知と共に応募書類の一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary）が一つのデータで送られてくる。これを1部印刷したもの。
- 3) 推薦状 1通（**建築応募者のみ。独または英語。書式はポータルからダウンロード**）：  
開封無効。推薦者に封筒に入れてもらい、そのまま他の書類に添えて提出する。学力（芸術的能力）および人物について、応募者をよく知っている大学教員（専門の教師）1名に書いてもらう。推薦者のサインは手書きであること。コロナの影響で推薦状の入手が難しい場合、今年に限り、推薦状なしでも応募は受理される。但し、推薦状は審査時に評価の対象となるため、可能な限り提出することを推奨する
- 4) 上記1)～3)を1部ずつ作成し、以下の宛先に送付する  
〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館1F  
ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所  
Tel：(03) 3582-5962

#### **応募期限（郵送書類は消印有効）**

音楽：2021年9月27日

建築分野：2021年9月30日

舞台芸術（演劇、演出、ダンス、振付け）：2021年11月2日

造形芸術（絵画、彫刻等）・デザイン・映画：2021年11月30日

## 6. 選考：

本奨学金は国内選考を行わず、ドイツの大学教授からなるボンの DAAD 本部の専門委員会において、応募書類と提出された作品によって審査が行われる。結果は翌年の4月頃までに DAAD ポータルを通し本人に通知される

#### **注 意：**

- ① 特に記述の無い場合、証明書類はすべてコピーで良い。合格者には最終決定後これらの証明書の原本提出を個別に依頼することがある。
- ② 開封無効の成績証明書等も開封してポータルからアップロードする。
- ③ 提出書類のサイズはA4で統一すること。**両面印刷は禁止**。
- ④ 提出書類に不備があった場合、いかなる理由であっても応募は無効となる。
- ⑤ DAADのポータルは応募締め切り日の24時（中央ヨーロッパ標準時（MEZ））に閉鎖される。
- ⑥ 締め切り日後の書類提出はいかなる理由があっても受け付けない。
- ⑦ 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法とEU一般データ保護規則に則りDAADに保管される。
- ⑧ 書類については、DAAD東京事務所HPの「[よくある質問](#)」のコーナーも参照すること。
- ⑨ 本募集要項は独語・英語の原文を基にしたもので、一部内容を省略・補足している。必要があれば原文を参照すること。